

◇日本女子オープン開催記念特別企画◇



2010年大利根CC開催
第43回日本女子オープンゴルフ選手権競技
優勝 宮里美香選手を招いての座談会
(2024年4月19日開催)

本年9月26日から当クラブで日本女子オープン選手権が行われます。当クラブでの開催は14年ぶり3回目。日本ゴルフ協会(JGA)創立100周年に開催される記念すべき大会に向け、山中博史JGA専務理事、日本女子オープン選手権2勝の宮里美香選手を招き、当クラブの村木茂理事長、山口雅司日本女子オープン実行委員会委員長と準備状況や大会招致の意義などを語り合いました。



出席者(写真左から)

山中博史(JGA専務理事)

山口雅司(常務理事・日本女子OP実行委員長)

宮里美香(プロゴルファー)

村木 茂(理事長)

※役職は取材時のもの

栄えある100周年記念大会を 大利根CCで開催

山中 大利根CCさんで日本女子オープン選手権を開催させていただくのは1971年、それから宮里美香さんが優勝した2010年に続いて3回目になります。今回、開催を引き受けてくださった経緯はどのようなものだったのでしょうか。

村木 当クラブではかねてからプロのトーナメントを、可能であればナショナルオープンレベルのものを受けたいという話があり、では日本女子オープン選手権にチャレンジしようとJGAさんをお願いに行ったという経緯です。おかげさまで開催させていただくことになったのですが、改めて創立100周年の記念の大会であるということを知りまして非常に名誉なことだと感じています。

山中 開催が決まってからのクラブ内の雰囲気はいかがでしたか？

村木 開催に向けてコース改修を行うわけですが、当初は「そこまでしてトーナメントを受けるのか」という反対意見はありました。ただ、結果的には多くの会員から「改修してよくなった」とおっしゃっていただいています。

山中 JGAとしてはかなり無理なお願いもしてきましたから、その話を聞いて少し楽な気持ちになりました。山口さんはいかがですか？

山口 木の伐採やバンカーの移動は全員が賛成というわけではありませんでしたが、結論はこの



村木理事長

先5年、10年と運営していった初めて出るものだと思います。

西コース攻略の鍵は

コースマネジメントとティーショット

山中 ありがとうございます。宮里さんが前回、大利根CCで優勝された時は東コースでしたが、今回は西コースでの開催になります。改修された西コースは本日、初めてプレーされたと思いますが、どのような印象でしたか？

宮里 大利根CCは松の木のイメージがすごく強かったのですが、以前に比べれば少なくなったという印象を受けました。バンカーは50個くらい改修したと聞きましたが、非常に利いていますね。コースマネジメントが重要になってくると感じました。ティーショットはただフェアウェイに打つだけでなく、フェアウェイの“どこ”に打つのかということがすごくキーになると感じました。フェアウェイでもポジションを間違えればグリーンを狙えない。ですからティーショットから技術が求められる。私はフェードヒッターが有利なのかなという印象を受けました。グリーンは遠目にはそれほど傾斜があるようには見えませんが、その場に立って初めて「こんなにあるんだ」と感じました。東コースもとても頭を使いましたが、今回はまた違った戦略が求められると思います。

山中 今回の改修の中で、大きなものはどのホールになりますか？

村木 ひとつは11番ですね。フェアウェイの真

ん中にある木を切って(2オンの)チャレンジがしやすくなりました。あと9番は非常にすっきりして最後にグッと締めるという非常にいいホールになったのではないかと感じています。それから、一番議論になった17番ですが、結果的に(右ラフの)木は1本になり、左側を広げてプレーゾーンを増やしました。グリーンは砲台でなおかつバンカーで両側を締めていますから、木があるなしに関わらずグリーンを攻めていく時の難しさが出るホールだと思います。

山中 宮里さんはここが難しいというホールはありましたか。

宮里 3番です。ティーショットがとても難しかったですね。

パットが冴え、プロ初優勝を掴んだ 思い出の2010年大会

山中 さて、次は宮里さんに2010年大会のことをお聞きしたいと思います。その前の年は4打差首位から残念ながら逆転されるという悔しい負け方をしていました。そして、ここ大利根CCでまた同じ4打のリードで最終日を迎えています。前年のことがトラウマになったりはしていませんでしたか？

宮里 トラウマはなかったです。むしろ、同じ状況でリベンジできるぞという楽しみがありましたね。同郷(沖縄出身)の上原彩子さんが同じ最終組でしたのですごく回りやすかったですし、あの日は楽しめました。



宮里プロ

山中 最終的にはリードを広げて6打差の快勝でした。シビアなパットをいくつも決めていましたね。

宮里 はい、パットが冴えていました。

山中 あの年は米ツアーからも宮里藍さんをはじめ、ヤニ・ツェンさんやチェ・ナヨンさんら強い選手が何人も出場していました。全米女子アマに勝ったダニエル・カンさんも出ていましたし、錚々たるメンバーの中で独走したわけですよ。優勝した瞬間にグリーンサイドで待っていた藍さんが駆け寄ってきました。あそこで涙腺がゆるんだ感じでした。

宮里 今でも思い出すと涙が出そうになります。すごうれしかったですね。

山中 感動的なシーンでした。宮里さんにとっては初優勝でもありましたよね。

宮里 プロになって初めての優勝でしたから大利根CCさんには思い入れがあります。当時は優勝賞金の一部を地元へ寄付させていただきました。あの後もここでは全米女子オープン予選でプレーさせていただいていますが、今日は久しぶりに戻ってくることができて本当によかったです。

山中 宮里さんは米ツアーでプレーしている間でも日本女子オープンには必ず戻って来てくれましたね。

宮里 私はアマチュア時代にJGAナショナルチームですごくお世話になったので、恩返しという意味もあって日本女子オープンには毎年絶対に出たいと思っていました。



山中専務理事



山中 そう聞くとうれしいですね。実は宮里さんは日本女子オープン優勝者としての出場資格が昨年(2013年の2勝目から10年間)で切れたのですが、産休で資格を使えなかったこともあり、今回はJGA特別承認者という形での出場になります。それだけ、大利根CCさんでの大会にかけるものがあるのだろーと思います。

村木 産休から復帰後最初の日本女子オープンが大利根ですから、何か縁を感じますね。

開催はネームバリュー、ステイタス、従業員のインセンティブアップに

山中 大利根CCさんでは日本女子オープンだけでなく男子の日本オープンやアジアパシフィックオープン、日本アマ、さらには男女の全米オープン予選と数多くのトーナメントを開催させていただいております。このようなトーナメントを受けることの意義はどのように感じいらっしゃいますか？

村木 いくつかあると思います。まずは大利根CCのネームバリューを上げることにつながるといことが挙げられます。トーナメントの間はプレーできなくなるという会員もいますが、開催することによってコースが整備されるという利点もありますし、会員にとっても大利根のステータスが上がっていくというポジティブな見方もあります。それに、グリーンキーパーをはじめ従業員が皆、大会に向けて頑張ってくれているんですよ。特に今回は今まで以上に一丸となって取り組



山口常務理事

んでくれています。それも大きなインセンティブになると思っています。

山中 山口さんはいかがですか。実行委員長としてのご苦労はたくさんあると思いますが。

山口 大利根は昔からの方針で協会や連盟の試合はどんどん受けていこうというのがあります。試合をやることによってコースが締まっていきますし、今回は西コースが(木の伐採で)すごく明るくなりました。ロケーションがすごく良くなってハンディキャップゼロから36まで楽しめるコースに変わりつつあるような気がします。すごくいいことだと思いますよ。

山中 明るくなると日光が入りますし、風通しもよくなります。芝にとってもいいこと。コースコンディションが良くなれば会員の皆様にも喜んでいただけるでしょうね。

山口 そうですね。試合当日のコースコンディションをつかっていくために西コースは組数制限などもしていくことになり、会員には我慢していただく部分も出てきますが、大会終了後に同じロケーションでプレーできるということをメリットと考えていただければと思います。

会員、従業員、地元が一丸となり、選手権を成功に導きたい

山中 では最後に宮里さん、大会に向けての意気込みを聞かせてください。

宮里 優勝した時とは違うコースではありますが、私本来のアグレッシブなプレーと自信のある

ショートゲームをみなさんにお見せして、できれば上位で争いたいと思っています。

山中 ぜひ頑張ってくださいと思います。村木理事長、会員の皆様にメッセージがあればお聞かせください。

村木 その前にまずは宮里美香プロ、ウェルカムバックですね。ぜひ4日間プレーして優勝争いしていただきたいと思います。

宮里 ありがとうございます、頑張ります。

村木 応援しています。さて、今回JGAさんの創立100周年の日本女子オープンを開催させていただくのは我々にとって非常に栄誉なことです。多くの法人会員が大会の協賛に入ってくれていますし、個人の会員のみなさんも協力してくれています。それに、茨城県や大利根の地元である坂東市、周辺の自治体も非常に協力的。ありがたいことです。会員、従業員が一丸となって大会を成功させるべく準備を進めていきたいと考えております。

山中 山口実行委員長、いかがでしょうか。

山口 これまで、本当に多くの方々に協力していただき、非常にありがたく感じています。大会を成功させたいという会員の気持ちは相当乗っていると思います。大成功させたいという気持ちでいっぱいです。

山中 ありがとうございます。ぜひ、よろしく願いたします。



座談会終了後に宮里プロにパネルにサインをいただきました。是非探してみてください。